

日高ブランドの魅力をPR!

「ひだか特産市」開催

八月一日から三日の三日間、門別競馬場において日高管内各JAをはじめとする関係機関が自慢の品を持ち寄り、「ひだか特産市」が開催されました。

この特産市は、日高管内で生産されている農畜産物や加工品の魅力を門別競馬場から発信し、地域ブランドの向上・確立につなげ、ホッカイドウ競馬を今以上に産地競馬として地域に根付かせることを目的に開催されました。

当JAからは、静内稲作振興会（日蔭由昭会長 会員五七名）から日蔭由昭会長をはじめ会員も参加し、静内産米「万馬券」のおにぎり、ミニトマト「太陽の瞳」販売の他、炊きたての「万馬券」や米粉クッキー・米粉パンをお客様に試食してもらい、テントの中は大変な賑わいをみせていました。

また、試食したお客様からは「米粉クッキー独特の食感が良い」「米粉パンがすごくモチモチしてて美味しい」と評価も上々のものとなりました。



試食コーナーは大好評でした!



稲作振興会から日蔭会長をはじめ多くの会員が販売の応援に駆けつけました。

産地競馬として出来ること

ホッカイドウ競馬は、雇用確保や地域経済への寄与など馬産地日高を支える非常に重要な役割を担っています。バスツアーや「A i b a祭」などホッカイドウ競馬存続のため多くの取り組み、応援が続けられています。

静内産馬の意地をみせる

ホッカイドウ競馬協賛レース

「JAしずない太陽の瞳特別」開催

八月八日、ホッカイドウ競馬協賛レース「JAしずない太陽の瞳特別」競走が実施されました。

この協賛レースは、上記「ひだか特産市」と同様にホッカイドウ競馬を産地から盛り上げていこうと企画されたもので、また、この日は、ミニトマト「太陽の瞳」PRのために開門から先着100名の方に「太陽の瞳」の無料配布を行いました。

第八レースに開催された協賛レースは、桑村真明騎手騎乗のマリアンヌタイヨウ号が、四コーナー先頭から直線でも一完歩一完歩力強く駆け抜け、そのまま先頭を譲ることなく二着「ウジンキンキ号に一馬身二分の一の差をつけ優勝しました。

また、見事優勝を飾ったマリアンヌタイヨウ号は、聖心台牧場(有)の生産馬で、静内産馬としての意地をみせてくれる結果ともなりました。



競馬場の人にも協力をして頂きました。



皆さんで、記念にパシャリ!